



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 シライ電子工業株式会社  
 コード番号 6658 URL <http://www.shiraidenshi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 昌彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理担当 (氏名) 五藤 学 TEL 075-861-8100  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	22,355	14.5	119		5		208	
2020年3月期	26,135	8.7	98		146		500	

(注) 包括利益 2021年3月期 34百万円 ( %) 2020年3月期 569百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	14.96		8.5	0.0	0.5
2020年3月期	35.82		18.7	0.7	0.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 86百万円 2020年3月期 192百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	20,322	2,476	11.4	166.10
2020年3月期	20,636	2,511	11.4	167.86

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,321百万円 2020年3月期 2,345百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,284	1,116	474	2,065
2020年3月期	1,298	1,319	335	1,484

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	18.5	350	193.2	150	2,893.8	100		7.16

## 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期	13,976,000 株	2020年3月期	13,976,000 株
2021年3月期	1,413 株	2020年3月期	1,413 株
2021年3月期	13,974,587 株	2020年3月期	13,974,587 株

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料については、2021年5月下旬に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。各国の経済政策やワクチンの接種の影響等により持ち直しております。

わが国経済におきましても、新型コロナウイルスの影響を受け上半期を中心に経済活動の停滞等により非常に厳しい状況となりましたが、景気の先行きにつきましては各種政策効果や世界経済の改善により持ち直していくことが期待されます。このような状況のなか当社グループは新型コロナウイルスの影響を受け、国内外共に上期を中心に受注が低迷いたしました。下期は自動車関連の受注を中心に持ち直しの動きが見られました。

この結果、当連結会計年度における売上高は22,355百万円となり、前年同期比では3,779百万円(△14.5%)の減収となりました。

営業損益につきましては、下半期を中心に受注が回復してきたこと及び経営構造改革の一環としてグループを挙げて事業の選択と集中に取り組み、全社的な経営意思決定の迅速化と不採算の管理可能固定費の削減の効果により、119百万円の営業利益となり、前年同期比では217百万円の増益となりました。

経常損益につきましては、持分法による投資損失が86百万円の影響等により、5百万円の経常利益となり、前年同期比では151百万円の増益となりました。

親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、経営構造改革の一環として希望退職実施に伴う特別損失150百万円を計上したこと等により、208百万円の親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

#### (プリント配線板事業)

プリント配線板事業につきましては、国内外の主力分野である、カーエレクトロニクス関連、ホームアプライアンス関連、電子応用関連分野をはじめ全ての分野で受注が減少した結果、売上高は21,636百万円となり、前年同期比では3,457百万円(△13.8%)の減収となりました。

損益面につきましては、売上高は減収となったもののグループを挙げて経営構造改革に取り組み、不採算の管理可能固定費の削減により95百万円の営業利益となり、前年同期比では283百万円の改善となりました。

#### (検査機・ソリューション事業)

検査機・ソリューション事業につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響に伴い、プリント配線板外観検査機(VISPERシリーズ)及び各種ソリューション商品とも販売台数が減少した結果、売上高は615百万円となり、前年同期比では317百万円(△34.0%)の減収となりました。

損益面につきましては、売上高の減収により4百万円の営業損失となり、前年同期比では63百万円の減益となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末の資産合計は、20,322百万円(前連結会計年度末比314百万円減)となりました。その内訳は、流動資産が10,402百万円(前連結会計年度末比260百万円減)、固定資産が9,919百万円(前連結会計年度末比53百万円減)であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産につきましては、現金及び預金は580百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が315百万円、製品が545百万円減少したことによるものであります。固定資産につきましては、有形固定資産は217百万円増加したものの、無形固定資産が31百万円、投資その他の資産が239百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末の負債合計は、17,845百万円(前連結会計年度末比279百万円減)となりました。その内訳は、流動負債が11,373百万円(前連結会計年度末比769百万円減)、固定負債が6,472百万円(前連結会計年度末比489百万円増)であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が198百万円、一年内返済予定の借入金が312百万円、賞与引当金が133百万円減少したことによるものであります。固定負債につきましては、退職給付に係る負債が109百万円減少しましたが、長期借入金が779百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、2,476百万円（前連結会計年度末比34百万円減）となりました。主な増減要因は、利益剰余金が208百万円減少と為替換算調整勘定が180百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は2,065百万円となり、前年同期比では580百万円増加いたしました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における営業活動によるキャッシュ・フローは1,284百万円の獲得となり、前年同期比では13百万円獲得減少となりました。その主な増減要因は、当連結会計年度では仕入債務の増減額が580百万円増加し資金流出が減少したことや補助金の受取額が121百万円増加となりましたが、売上債権の増減額が519百万円増加し資金獲得が減少したことや経営構造改革費用の支払額が148百万円発生したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における投資活動によるキャッシュ・フローは1,116百万円の流出となり、前年同期比では202百万円の流出減少となりました。その主な増減要因は、当連結会計年度では投資有価証券の売却による収入が138百万円増加したことや定期預金の預入による支出が62百万円発生しなかったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における財務活動によるキャッシュ・フローは474百万円の獲得となり、前年同期比では809百万円獲得増加となりました。その主な増減要因は、当連結会計年度では短期借入金の純増減額が858百万円減少しましたが、長期借入れによる収入が1,419百万円増加したことや長期借入金の返済による支出が207百万円減少したことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響及びワクチンの接種の進捗状況や、米中の覇権争い等により先行きは極めて不透明な状況にありますが、米国等の追加的な財政支援や金融緩和等により、個人消費が旺盛になってきており景気回復することが期待されています。

このような状況のなか、当社グループは引き続き経営構造改革をグループで一丸となって進め、経営環境の変化に対応できるよう意思決定の迅速化を図っていくとともに、事業の選択と集中を図り、不採算な固定費の低減に努め、新事業の推進に注力することで、持続可能な財務体質と競争力の維持構築を進めてまいります。

次期の通期業績予想につきましては、売上高26,500百万円（前連結会計年度比18.5%増）、営業利益350百万円（前連結会計年度比193.2%増）、経常利益150百万円（前連結会計年度比2,893.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益100百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社では、日本基準を適用して財務諸表を作成しております。IFRSの任意適用についても検討しているものの、海外市場での資金調達を予定していないことからIFRSの選択を迫られていないため、日本基準の適用を継続していく予定であります。なお、今後もIFRSの任意適用に関する検討は進めていく所存であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,937	2,518
受取手形及び売掛金	5,361	5,045
電子記録債権	342	369
製品	1,704	1,159
仕掛品	517	597
原材料及び貯蔵品	442	398
その他	358	314
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	10,663	10,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,100	2,862
機械装置及び運搬具（純額）	2,256	2,124
土地	1,550	1,540
リース資産（純額）	497	244
建設仮勘定	669	1,571
その他（純額）	360	308
有形固定資産合計	8,433	8,651
無形固定資産		
その他	234	202
無形固定資産合計	234	202
投資その他の資産		
投資有価証券	986	796
繰延税金資産	189	154
その他	145	131
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	1,305	1,065
固定資産合計	9,973	9,919
資産合計	20,636	20,322

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,363	3,165
電子記録債務	1,000	977
短期借入金	4,466	3,418
1年内返済予定の長期借入金	1,755	2,491
リース債務	194	147
未払法人税等	127	100
賞与引当金	287	153
その他	946	918
流動負債合計	12,142	11,373
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	4,704	5,483
リース債務	335	189
退職給付に係る負債	547	438
資産除去債務	149	148
その他	46	12
固定負債合計	5,982	6,472
負債合計	18,125	17,845
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	1,506	1,506
利益剰余金	486	277
自己株式	△0	△0
株主資本合計	3,355	3,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	2
為替換算調整勘定	△991	△811
退職給付に係る調整累計額	△37	△16
その他の包括利益累計額合計	△1,009	△825
非支配株主持分	165	155
純資産合計	2,511	2,476
負債純資産合計	20,636	20,322

## (2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	26,135	22,355
売上原価	22,315	19,014
売上総利益	3,819	3,341
販売費及び一般管理費	3,917	3,222
営業利益又は営業損失(△)	△98	119
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	1
持分法による投資利益	192	—
為替差益	—	17
補助金収入	25	147
その他	33	39
営業外収益合計	256	206
営業外費用		
支払利息	276	212
為替差損	15	—
持分法による投資損失	—	86
その他	12	21
営業外費用合計	304	321
経常利益又は経常損失(△)	△146	5
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	44
特別利益合計	0	45
特別損失		
固定資産売却損	23	0
減損損失	169	13
固定資産除却損	9	11
経営構造改革費用	—	150
その他	4	—
特別損失合計	207	176
税金等調整前当期純損失(△)	△353	△125
法人税、住民税及び事業税	111	55
法人税等調整額	14	34
法人税等合計	126	90
当期純損失(△)	△479	△215
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△500	△208
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	21	△6
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△17
為替換算調整勘定	△74	171
退職給付に係る調整額	12	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	5
その他の包括利益合計	△90	180
包括利益	△569	△34
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△593	△24
非支配株主に係る包括利益	24	△10

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,361	1,506	1,057	△0	3,925
当期変動額					
剰余金の配当			△69		△69
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△500		△500
自己株式の取得				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△570	—	△570
当期末残高	1,361	1,506	486	△0	3,355

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	27	△894	△49	△916	141	3,150
当期変動額						
剰余金の配当						△69
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△500
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△7	△97	12	△92	24	△68
当期変動額合計	△7	△97	12	△92	24	△639
当期末残高	19	△991	△37	△1,009	165	2,511

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,361	1,506	486	△0	3,355
当期変動額					
剰余金の配当			—		—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△208		△208
自己株式の取得				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△208	—	△208
当期末残高	1,361	1,506	277	△0	3,146

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	19	△991	△37	△1,009	165	2,511
当期変動額						
剰余金の配当						—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△208
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△17	180	20	184	△10	174
当期変動額合計	△17	180	20	184	△10	△34
当期末残高	2	△811	△16	△825	155	2,476

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△353	△125
減価償却費	1,203	1,073
減損損失	169	13
経営構造改革費用	—	150
補助金収入	△25	△147
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	△135
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△33	△87
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△0
受取利息及び受取配当金	△4	△2
支払利息	276	212
為替差損益 (△は益)	568	△24
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△44
固定資産売却損益 (△は益)	23	△1
固定資産除却損	9	11
持分法による投資損益 (△は益)	△192	86
売上債権の増減額 (△は増加)	727	207
たな卸資産の増減額 (△は増加)	182	485
仕入債務の増減額 (△は減少)	△708	△127
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	1	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3	134
その他	△140	△124
小計	1,693	1,556
利息及び配当金の受取額	4	2
利息の支払額	△278	△213
補助金の受取額	25	147
経営構造改革費用の支払額	—	△148
法人税等の支払額	△146	△59
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,298	1,284
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△62	—
有形固定資産の取得による支出	△1,218	△1,212
有形固定資産の売却による収入	12	4
無形固定資産の取得による支出	△42	△43
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の売却による収入	0	138
その他	△2	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,319	△1,116

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△97	△956
長期借入れによる収入	2,155	3,574
長期借入金の返済による支出	△2,147	△1,939
リース債務の返済による支出	△174	△203
配当金の支払額	△70	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△335	474
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	△61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△378	580
現金及び現金同等物の期首残高	1,863	1,484
現金及び現金同等物の期末残高	1,484	2,065

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

### 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、製品・サービス別の事業部門（一部の製品・サービスについては子会社）を置き、各事業部門及び子会社は、取り扱う製品・サービスに係る国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

従って、当社グループは、事業部門及び子会社を基礎とする事業セグメントから構成されており、製品・サービス別に集約した「プリント配線板事業」、「検査機・ソリューション事業」の2つを報告セグメントとしております。「プリント配線板事業」は、設計・試作から量産品までプリント配線板の製造・販売を行っております。「検査機・ソリューション事業」は、プリント配線板外観検査機及び各種ソリューションビジネス商品の開発・販売及び保守サービスを行っております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注)3
	プリント 配線板事業	検査機・ソリュ ーション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,093	924	26,018	116	26,135	—	26,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8	8	232	240	△240	—
計	25,093	933	26,026	349	26,375	△240	26,135
セグメント利益 又は損失(△)	△187	59	△127	8	△119	20	△98
その他の項目							
減価償却費	1,211	4	1,216	6	1,222	△19	1,203
減損損失	167	2	169	—	169	—	169

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業を含んでおります。  
2 セグメント利益又は損失(△)の調整額20百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。  
その他の項目の減価償却費の調整額△19百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。  
3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。  
4 当社は報告セグメントに資産を配分しておりません、

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注)3
	プリント 配線板事業	検査機・ソリュ ーション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,636	607	22,244	111	22,355	—	22,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	7	215	223	△223	—
計	21,636	615	22,251	327	22,579	△223	22,355
セグメント利益 又は損失(△)	95	△4	91	6	97	21	119
その他の項目							
減価償却費	1,081	3	1,084	6	1,091	△18	1,073
減損損失	13	—	13	—	13	—	13

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業を含んでおります。  
2 セグメント利益又は損失(△)の調整額21百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。  
その他の項目の減価償却費の調整額△18百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。  
3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。  
4 当社は報告セグメントに資産を配分しておりません、

## (1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額 (円)	167.86	166.10
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額 (百万円)	2,511	2,476
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	165	155
(うち非支配株主持分 (百万円))	(165)	(155)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	2,345	2,321
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	13,974	13,974

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
(2) 1株当たり当期純損失 (円)	35.82	14.96
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純損失 (百万円)	500	208
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失 (百万円)	500	208
普通株式の期中平均株式数 (千株)	13,974	13,974

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。